



国民春闘共闘

第19号

2015年4月23日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館

☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

2015春闘・第3回進ちよく状況調査

ベア・有額回答が増える！ 後半戦もスト決起で上積みはかる

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は20日、加盟全単組を対象とした2015年春闘における第3回目の「春闘進ちよく状況」調査を実施し、20単産（2545組合）からの報告をまとめました。

1. 要求提出状況

第3回進ちよく状況調査には、新たに自交総連、金融労連から報告が寄せられ、別表の20単産での集計となりました。交渉単位では2545組合となります。

4月20日段階で要求提出が確認できた組合は、調査組合の65%にあたる1653組合です。単産別に要求提出率をみると、100%達成は、合同繊維、検数労連、通信労組、全損保、郵政ユニオンの5単産で、9割台が全倉運（95%）、金融労連（93.8%）、8割台が出版労連（83.5%）、民放労連（82.4%）、映演労連（80%）、7割台がJMIU（79.3%）、化学一般労連（78.5%）、特殊法人労連（77.8%）となっています。一方で、要求提出率が5割に満たない産別もあり、今後の奮闘が求められます。

3月23日に行った第2回調査（18単産・1303組合・58.4%）からは全体で350組合・6.6%増えています。この1ヵ月間で要求提出率が上昇した単産は、全農協労連（15.8%増）、建設関連労連（15.7%増）、民放労連（11.2%増）、化学一般労連（10.8%増）、生協労連（9.9%増）、建交労連（9.6%増）、出版労連（7.2%増）、全印総連（3.9%増）、全倉運、日本医労連（各2.5%増）、JMIU（0.1%増）となっています。

要求提出率を前年同期（2014年4月23日現在：21単産・2088組合・65.6%）と比べると全体では0.6%減少しています。金融労連（17.6%増）、通信労組（11.5%増）、建設関連労連（8.7%増）、JMIU（2.4%増）、全印総連（1.1%増）、出版労連（0.9%増）、化学一般労連（0.7%増）の7単産が前年同期比プラスとなり、合同繊維、検数労連、全損保、郵政ユニオンの4単産がいずれも100%で同率となっています。一方で、全農協労連、建交労、自交総連、全倉運、生協労連、民放労連、映演労連、日本医労連、特殊法人労連の8単産はマイナスとなっています。

2. ストライキ権確立状況

調査組合のうち、ストライキ権を確立したのは1138組合・50%です。全組合でストライキ権を確立しているのは、検数労連、通信労組、全損保、郵政ユニオンの4単産です。その他、建交労（70.8%）、映演労連（70%）、JMIU（62.2%）、合同繊維（60%）、日本医労連（58%）、特殊法人労連（55.6%）が過半数以上の組合でストライキ権を確立しています。

前回調査（1079 組合・48.3%）からは全体で 59 組合・1.7 ㊦増え、前年同期（1368 組合・47.4%）からは率で 2.6 ㊦上回っています。前年同期と比べベストライキ権確立が増えた単産は、全農協労連（23 組合・10 ㊦増）、建設関連労連（3 組合・7.9 ㊦増）、全倉運（3 組合・7.5 ㊦増）、金融労連（1 組合・4.1 ㊦増）、全印総連（5 組合・5.2 ㊦増）、日本医労連（37 組合・10.7 ㊦増）です。

3.回答引出し状況

要求提出した 1653 組合のうち、回答を引き出した組合は 991 組合・60%となりました。3月25日を回答指定日に設定した全倉運、港湾産別春闘に結集しながらたたかいを進める検数労連や自交総連、金融労連、全損保、映演労連などで回答が出始めた他、3月25日から27日の「交渉集中ゾーン」、4月15日から17日の「統一行動ゾーン」も節目に各組織が追い上げをはかり、前回調査の3月23日時点から364組合・11.9㊦上昇しています。3月後半からの追い上げは、日本医労連（72組合・20.3㊦増）、建交労（81組合・19.7㊦増）、JMIU（37組合・19㊦増）、化学一般労連（27組合・29.2㊦増）、民放労連（29組合・17.6㊦増）、全農協労連（21組合・16.6㊦増）、出版労連（17組合・15㊦増）などで顕著となっています。

前年同期（1144 組合・54.8%）と比べ回答引出し率は 5.2 ㊦増加しています。全倉運（12.3 ㊦増）、映演労連（10.8 ㊦増）、日本医労連（9.6 ㊦増）、全損保（8.3 ㊦増）、金融労連（4.4 ㊦増）、化学一般労連（3.4 ㊦増）が前年同期を上回る回答引出し率となっています。

4.回答引出し状況

<定昇制度あり>の職場（回答 576 組合）では、「定期昇給+ベア」回答を引き出した組合は、169 組合で回答組合中 29.3%となっています。前回調査（106 組合・27.8%）から 63 組合・1.5 ㊦上昇し、前年同期（146 組合・23.5%）と比べ 23 組合・5.8 ㊦増えています。

比較可能な単産で、前年同期より「定昇+ベア」獲得組合数が増加したのは、生協労連（12 組合増）、JMIU（9 組合増）、化学一般労連（6 組合増）、民放労連（5 組合増）、建設関連労連、金融労連（各 2 組合増）、全損保（1 組合増）などとなっています。

「ベアゼロ・定昇のみ」回答は 402 組合・69.8%で、前回調査（106 組合・70.9%）から 1.1 ㊦減、前年同期（472 組合・75.9%）からは 6.1 ㊦減とその割合を減らしています。「賃金引下げ提案」も特殊法人労連の 5 組合で出されています。

<定昇制度なし>の職場（回答 361 組合）では、「有額獲得」を引き出した組合は 317 組合で、回答組合中 87.8%となっています。前回調査（163 組合・82.3%）から 154 組合・5.5 ㊦上昇し、前年同期（365 組合・80.4%）と比べ割合で 7.4 ㊦上回っています。一方で、「ゼロ回答」が 43 組合、「賃下げ提案」も 1 組合から報告が寄せられています。

前年同期と比べて「定昇+ベア」回答、「有額獲得」の割合が増えています。また、全損保・三井住友支部での「19年ぶりベア回答」など、数年ぶりとなるベア獲得をした組合や粘り強い交渉で回答を引き出した組合が散見するなど、各組織の奮闘が伺える状況となっています。金融・保険業関係や建設業関係、農協関係など4月後半から5月にかけて交渉が本格化する組合での回答が注目されます。

5.平均賃上げ額・率とベースアップ平均額

回答があった1653組合のうち、単純平均（一組合あたりの平均）額の揭示があった698組合での平均賃上げ額は5,285円となっています。前回調査（5,464円）から179円減となっていますが、前年同期（4,977円）を308円上回っています。

平均賃上げ率は、495組合の平均で2.03%と、前回調査（2.06%）を0.01%、前年同期（2.13%）を0.1%下回っています。

前回調査からの推移をみると、建交労（694円増）、JMIU（104円・0.07%増）、化学一般労連（91円増・±0%）、生協労連（492円・0.08%増）、出版労連（512円・0.13%増）、日本医労連（84円・0.01%）などで微増していることが確認できます。

JMIUからは「後半戦に入り3組合が千円単位での上積み回答を引き出した」と報告が寄せられるなど、数次の産別統一行動や回答促進・追い上げゾーンなども設定しながら各組織での奮闘が伺える状況となっています。

ベースアップ相当分の水準をみると額揭示のあった159組合での単純平均は1,930円となっています。前回調査（97組合平均1,557円）から373円増えています。

単産別にみると、出版労連（49組合平均2,787円）、生協労連（17組合平均2,121円）、建設関連労連（2組合平均2,000円）、民放労連（24組合平均1,906円）、JMIU（20組合平均1,852円）、映演労連（2組合平均1,800円）、全印総連（4組合平均1,175円）、郵政ユニオン（1組合・1,000円）、日本医労連（39組合平均976円）、全倉運（1組合・100円）となっています。日本医労連からは「小幅だがベア平均額が昨年を上回っている」との報告も寄せられています。

6.ストライキ実施状況

4月20日現在、234組合（調査組合中10.3%）から、のべ288回（同12.7%）のストライキ実施の報告が寄せられています。

検数労連は4月5日に全国港湾での24時間ストライキを敢行し、産業別最低賃金引上げなどを引き出しています。化学一般労連では低額回答に抗議し、三和ケミカル支部が3月27日、4月8日の両日、小野薬品支部でも4月1日に時限ストライキを決行しています。

JMIUでは3月26日に栃木・日本起重機、埼玉・日信工業、東京西部・超音波工業、4月に入ってから2日に兵庫・甲南電気が17年ぶりとなるストライキに決起し、13日には東京北部の鈴木シャッター支部が半日ストライキに立ち上がっています。

7.妥結状況

現時点で妥結もしくは妥結方向となっているのは、要求提出組合の19.3%にあたる319組合となっています。前回調査（62組合・4.8%）から257組合・14.5%増えました。前年同期（392組合・18.8%）と比べ0.5%増とほぼ同水準となっています。

前回調査からの約1ヵ月間で妥結組合は大きく増えたものの、要求提出組合の8割強、回答引出し組合の7割弱がたたかいを継続しています。

まもろう憲法と暮らし ストップ暴走政治 実現しよう！大幅賃上げと雇用の安定